



第155期 中間株主通信

平成28年4月1日 »

平成28年9月30日

証券コード：5356



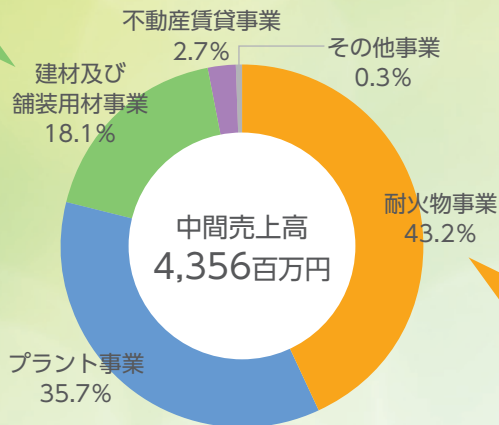
美濃窯業株式会社
MINO CERAMIC CO., LTD.

美濃窯業グループの使命

セラムックスを源流に、独自・多様な技術を磨き、産業の高度化・効率化に寄与する
製品、技術、サービスを提供し、社会の発展に貢献する。
規模は大きくないが、一味違う強い特徴を持ち、質の高い企業グループを目指す。

事業紹介

道路用材及び加工製品の
製造・販売・施工



耐火煉瓦、不定形耐火物、
ニューセラムックスの製造・販売



工業炉・自動化設備など、
総合プラントの設計・施工



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第155期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）が終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに第2四半期決算の内容につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長

太田滋俊




事業概況

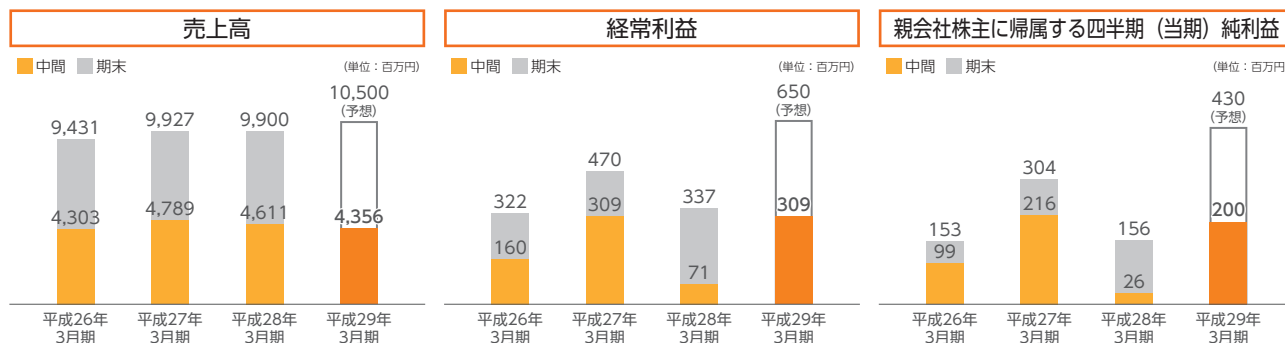
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は足踏み状態が続いています。政府および日銀による経済対策、金融政策により雇用・所得環境に改善傾向がみられるものの、中国をはじめとする新興国経済の景気の下振れリスクや英国のEU離脱選択の影響が懸念されるなど景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

こうした状況のもと、セメント業界向け耐火物を中心とする耐火物事業は、新規顧客開拓の成果もありましたが、全国生コン出荷量が、23カ月連続で前年同月実績を下回るなどセメント業界は厳しい環境が続いており、その影響で売上高は前年同四半期から減少しました。利益面は継続的な構造改革に加えて生産性向上への取り組みの成果、更には燃料価格の下落、コスト削減の効果もあり、セグメント利益は黒字を確保することができました。

プラント事業については、環境関連が好調で、採算性の向上、コスト削減にも取り組んだ結果、売上高は前年を若干下回ったものの、利益面は大幅に改善致しました。建材及び舗装用材事業については、作業員不足による公共事業の着工遅延の影響もあり、改善傾向にあるものの売上高、利益面ともに厳しい結果となりました。

不動産事業は、本社ビルの一部を始めとする社有不動産の賃貸が主なもので、安定した収益を確保しました。

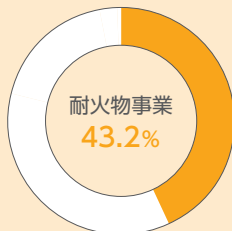
以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高4,356百万円（前年同四半期比5.5%減）、営業利益279百万円（前年同四半期比467.6%増）、経常利益309百万円（前年同四半期比335.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益200百万円（前年同四半期比650.7%増）となりました。



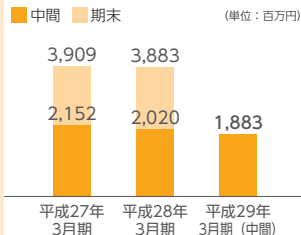


セグメント別の概況

構成比



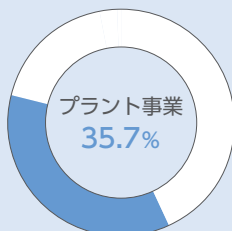
売上高



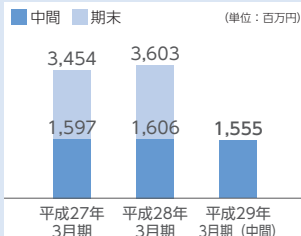
コスト削減と燃料価格の下落

耐火物事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,883百万円（前年同四半期比6.8%減）、セグメント利益は156百万円（前年同四半期は18百万円のセグメント損失）となりました。

構成比



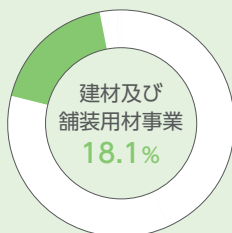
売上高



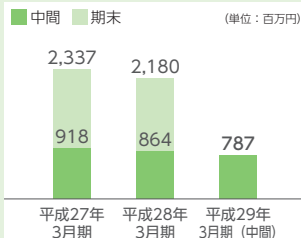
大型工事案件の減少 工事案件全体の利益率改善

プラント事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,555百万円（前年同四半期比3.2%減）、セグメント利益は150百万円（前年同四半期比445.9%増）となりました。

構成比



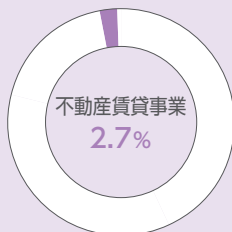
売上高



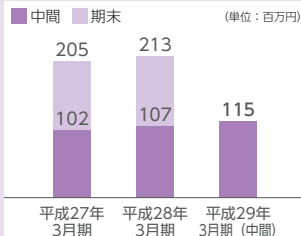
作業員不足による公共事業の着工遅延

建材及び舗装用材事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は787百万円（前年同四半期比8.9%減）、セグメント損失は1百万円（前年同四半期は13百万円のセグメント損失）となりました。

構成比



売上高



安定した収益を確保

不動産事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は115百万円（前年同四半期比7.8%増）、セグメント利益は68百万円（前年同四半期比6.9%増）となりました。

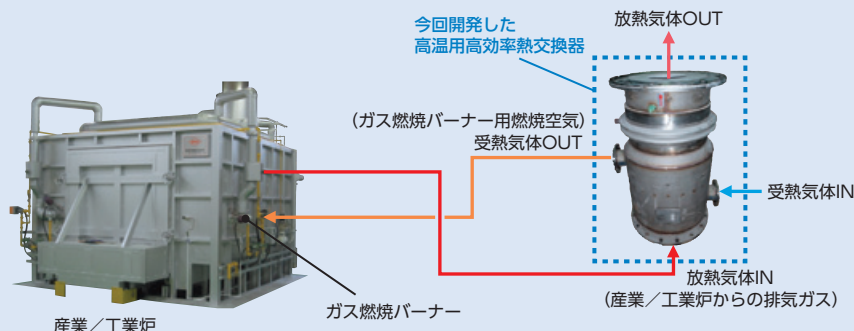
※その他事業として売上高13百万円（前年同四半期比7.8%増）、セグメント利益は3百万円（前年同四半期比42.4%増）となりました。

産業／工業炉向け高温用高効率熱交換器を開発 ―未利用熱の有効活用に向け、当社が供給開始―

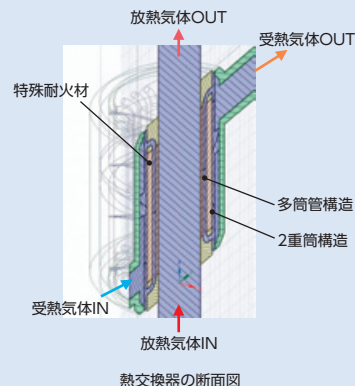
NEDOプロジェクトにおいて、未利用熱エネルギー革新的活用技術研究組合（TherMAT）は、1,300℃の耐高温性能を有し、産業／工業炉から廃棄される熱エネルギーを従来比3倍の性能で回収する高温用高効率熱交換器を開発しました。

産業／工業炉用高温用熱交換器の性能

	従来型	今回開発品
熱回収性能	約5～7%	約24%



高温用高効率熱交換器の産業／工業炉への適用例



熱交換器の断面図

「TRANS ARTS TOKYO 2016 UP TOKYO」への協力

当社は、地域交流への取組みの一環として都市の様々な空間を活用したクロスジャンルなアートプロジェクト「TRANS ARTS TOKYO」に協力しています。

本プロジェクトは、東京・神田の街全体の文化的価値を向上し、街の賑わい創出に寄与するプロジェクトであり、2016年で5回目を迎えます。

今年は10月15日（土）から16日間にわたり開催され、神田の街の賑わい創出の一助となりました。

- 掲載場所：セラミックビル1F壁面（神田錦町3丁目）
- アーティスト：Hogalee
- アーティスト詳細：現代女性をモチーフにマンガ表現でアートワークを制作する作家



今年の参加の様子



連結財務諸表

決算短信などの詳細情報は

美濃窯業

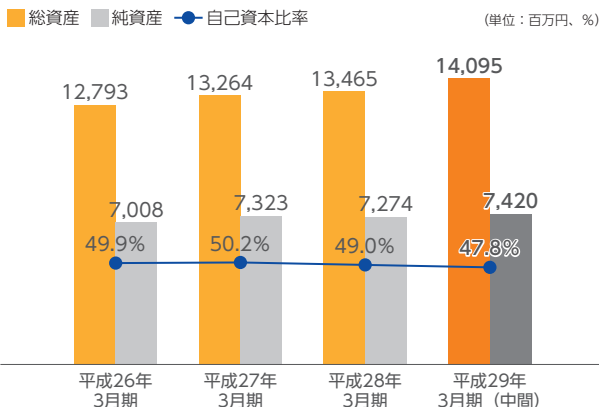
検索

第2四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前期末 平成28年3月31日現在	当第2四半期末 平成28年9月30日現在
資産の部		
流動資産	8,485	9,231
固定資産	4,979	4,863
有形固定資産	3,328	3,364
無形固定資産	26	40
投資その他の資産	1,624	1,459
① 資産合計	13,465	14,095
負債の部		
流動負債	4,254	4,796
固定負債	1,935	1,878
② 負債合計	6,190	6,675
純資産の部		
株主資本	6,391	6,563
その他の包括利益累計額	202	169
非支配株主持分	680	688
純資産合計	7,274	7,420
負債純資産合計	13,465	14,095

総資産／純資産／自己資本比率



第2四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前第2四半期連結累計期間 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで
売上高	4,611	4,356
売上原価	3,676	3,280
売上総利益	935	1,075
販売費及び一般管理費	886	796
営業利益	49	279
経常利益	71	309
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	26	200

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前第2四半期連結累計期間 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで
③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	51	541
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー	118	24
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額	12	429
現金及び現金同等物の期首残高	2,609	2,085
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,621	2,514

ワンポイント説明

① 資産合計

流動資産は、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金やたな卸資産の増加などにより、全体としては9,231百万円（前連結会計年度末比746百万円増）となりました。固定資産は、投資有価証券の減少などにより、全体としては4,863百万円（前連結会計年度末比115百万円減）となりました。その結果、資産合計では、14,095百万円（前連結会計年度末比630百万円増）となりました。

② 負債合計

流動負債は、支払手形及び買掛金が減少したものの、電子記録債務や未払法人税等の増加などにより、全体としては4,796百万円（前連結会計年度末比541百万円増）となりました。固定負債は、社債の減少などにより、全体としては1,878百万円（前連結会計年度末比57百万円減）となりました。その結果、負債合計では、6,675百万円（前連結会計年度末比484百万円増）となりました。

③ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は541百万円（前年同四半期比944.3%増）となりました。収入の主な内訳は、売上債権の減少額424百万円、前受金の増加額371百万円及び税金等調整前四半期純利益299百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額531百万円であります。



会社概要

会社名	美濃窯業株式会社 MINO CERAMIC CO.,LTD.
設立	大正7（1918）年8月14日
資本金	8億7,700万円
従業員数	連結319名（単体259名）
事業内容	耐火物および耐火材料の製造販売 工業窯炉および付帯品の設計 製作・施工・販売 熱処理・自動化プラントの設計・建設 建築材料および舗装用材の製造・施工・販売 工業用セラミックス製品の製造販売
本社	本社：岐阜県瑞浪市寺河戸町719番地 本社事務所：愛知県名古屋市中村区名駅南 1丁目17番28号
グループ会社	美州興産株式会社 株式会社ビョーブライト ミノセラミックス商事株式会社 日本セラミツクエンジニアリング株式会社

役員

代表取締役社長	太田 滋 俊
取締役専務執行役員	中 島 正 也
取締役執行役員	山 田 俊 彦
取締役執行役員	長谷川 郁 夫
取締役（非常勤）	中 尾 晴一朗
社外取締役（非常勤）	道 浦 耐
常勤監査役	小 塚 永 生
監査役	高 野 正 和
監査役	春日井 孝

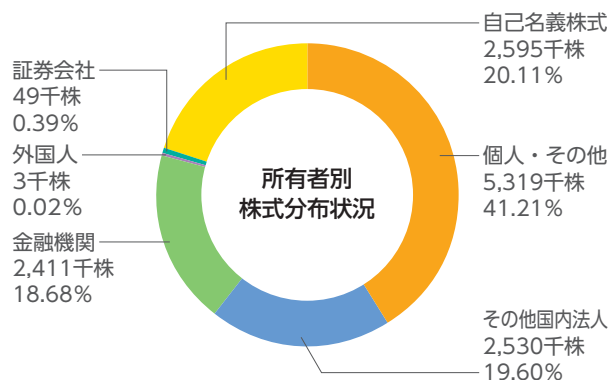
株式の状況

発行可能株式総数	31,960,000株
発行済株式の総数	12,909,828株 (自己株式2,595,904株を含む)
単元株式数	1,000株
株主数	746名
大株主の状況	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
太田滋俊	566	4.38
ミノセラミックス商事（株）	514	3.98
太平洋セメント（株）	510	3.95
（株）みずほ銀行	465	3.60
（株）十六銀行	400	3.09
（株）名古屋銀行	360	2.78
（株）大垣共立銀行	360	2.78
あいおいニッセイ同和損害保険（株）	300	2.32
資産管理サービス信託銀行（株）（信託E口）	259	2.00
日本坩堝（株）	255	1.97

※上記のほか、自己株式が2,595千株あります。

株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月（議決権の基準日 毎年3月31日）
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

公告の方法 電子公告（当社ホームページに掲載）

ホームページアドレス
<http://www.mino-ceramic.co.jp/>

※ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

美濃窯業株式会社

（お問い合わせ先）

愛知県名古屋市中村区名駅南1丁目17番28号
052-551-9221

ホームページのご案内

ホームページに会社情報や事業紹介、IR情報、および最新情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

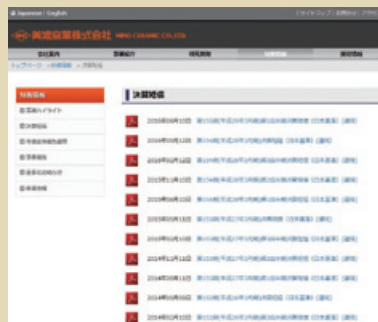
<http://www.mino-ceramic.co.jp/>

美濃窯業

検索



▲ トップページ



▲ 財務情報

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

